

## 船舶事故等調査報告書

平成23年10月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011那第20号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年5月20日 14時07分ごろ	
発生場所	沖縄県沖縄市 <sup>あわせ</sup> 泡瀬港 うるま市所在の勝連埼 <sup>かつれんさき</sup> 灯台から真方位280° 1.8海里付近 （概位 北緯26° 18.1′ 東経127° 53.0′）	
事故等調査の経過	平成23年5月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 漁船 <sup>ともき</sup> 智紀丸、1.9トン 船舶番号、船舶所有者等 ON3-140086（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	船底部に擦過傷、右舷ビルジキール前部折損	
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、泡瀬港において水路の右側端付近を速力約8ノットで航行中、風を受けて右方に圧流され、平成23年5月20日14時07分ごろ、勝連埼灯台西方の浅瀬に乗り揚げた。 本船は、潮が満ちるのを待って離礁し、僚船により泡瀬港にえい航された。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南東、風力 2 海象：潮汐 下げ潮の末期	
その他の事項	船長は、約3年前に本船を購入し、その間に30～40回程度、本事故発生場所を航行した経験があったが、本事故時は今年初めての航行であった。 船長は、救命胴衣を着用していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、泡瀬港を航行中、船長が、水路の右側端付近を航行することに意識を集中していたことから、風により右方へ圧流されて浅瀬に接近していることに気付かずに航行し、同浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、泡瀬港を航行中、船長が、水路の右側端付近を航行することに意識を集中していたため、風により右方へ圧流されて浅瀬に接近していることに気付かずに航行し、同浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	